

がいこくせきけんみん かいぎ だい き ていげん たい しさくか そちじょうきょう けんとうじょうきょうとう
 外国籍県民かながわ会議（第12期） 提言に対する施策化措置状況・検討状況等

<p>ていげんないよう 提言内容</p>	<p>そちじょうきょう けんとうじょうきょうとう ねん がつまつじてん 措置状況・検討状況等(2026年3月末時点) か こ じょうきょう かく <過去の状況を含む></p>
<p>1 (1) 県のホームページのトップページのコンテンツメニューに【外国籍県民へ】を追加する。</p> <p>(2) イラストやマーク、やさしい日本語、または多言語で書かれている情報をカテゴリー（ライフシーン）ごとで検索できるページにする。</p> <p>(3) 既存の多言語情報リンク集を活用する。 希少言語などの対応が難しい場合、外国籍県民の国籍別の人口割合による主な言語、またはやさしい日本語が必要。</p>	<p>(1)について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トップページの「Translate」ページに、外国籍県民向けの生活情報のページ（「多言語情報一覧」）をリンク付けする。（知事室、国際課） <p>(2)、(3)について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多言語情報一覧（Multilingual Information List）のページを改修し、外国籍県民の生活等に役立つ情報をカテゴリーごとに検索できるようにしたほか、多言語の自動翻訳ができるようにした。（国際課）
<p>2 会議の委員以外の外国人の意見や提案を幅広く集めて確認した上で、外国籍県民かながわ会議の委員が提言内容とするか検討し、提言していく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・県のホームページ上で会議の委員以外の外国人から意見や提案を受け付けるお問い合わせフォームを設置した。受け付けた意見等は、必要に応じて提言内容とするか検討していく。（国際課）
<p>3 両親が共働きで、日本語教室に通いたくても通えず、日本の学校に通っている子どもたち向けにオンライン教室を設立する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・株式会社明光キャリアパートナーズと連携協定を締結し、外国籍県民を対象に、一定期間日本語学習アプリの無償提供を受けること等により、日本語の学習機会の拡大を図った。 ・外国につながる子ども向けのオンライン教室の設置については、今後も引き続き検討していく。 <p>※ なお、対面であるが、2026年度中に子ども向けの日本語教室を実施する予定。（国際課）</p>

がいこくせきけんみん かいぎ だい き ていげん たい しさくか そちじょうきょう けんとうじょうきょうとう
外国籍県民かながわ会議（第12期） 提言に対する施策化措置状況・検討状況等

提言内容	措置状況・検討状況等(2026年3月末時点) ＜過去の状況を含む＞
<p>4 グローバル社会を深く理解し一緒に「ともに生きる社会をつくる」人材育成のため、神奈川県立高等学校の生徒を対象とした国際理解クラブ活動を促進するモデル事業を実施する。</p>	<p>外国につながるのある生徒数が多く在籍している学校では、様々な国や民族の文化を発信し、ともに生活していく社会づくりを目指した「多文化クラブ」など、設置している学校もある。（高校教育課）</p>
<p>5 (1) 神奈川県内の小中高の学校現場において、特別支援学級に通う外国人児童・生徒の実態や支援状況について調査し、結果を保護者や支援者、関係者に公開する。 (2) 発達障害に関する外国人保護者向けの分かりやすい資料や説明会を、多言語で開催する。</p>	<p>(1)について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スクールカウンセラーとスクールソーシャルワーカーから、児童・生徒が抱えている課題や、それに対する効果的な取組事例を収集し、実態の把握に努め、支援の充実につなげている。 (子ども教育支援課) ・県立高校には、特別支援学級はない。また、通級には外国籍生徒は在籍していない。（高校教育課） <p>(2)について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭連絡票や学校のきまり等の入学時に必要な書類を多言語で作成し、それについて、通訳を交えて説明している市町村がある。そうした好事例を、県が実施する連絡会や研修会において共有した。引き続き、好事例の収集と周知を行う。 (子ども教育支援課) ・外国人保護者と子どもが適切な支援につながるよう、来所相談等を通して発達障害に関する説明をポケトークを活用する等分かりやすくするとともに、他機関とも連携していく。（総合教育センター） ・県発達障害支援センターかながわAのリーフレットの英語版を紙ベースで作成、PDFはかながわAのウェブページで公開。中国語版は国際課に翻訳を依頼中。 <p>2026年度は「やさしい日本語」で発達障害に関する研修会を開催予定。（障害福祉課）</p>

がいこくせきけんみん かいぎ だい き ていげん たい しさくか そち じょうきょう けんとうじょうきょうとう
 外国籍県民かながわ会議（第12期） 提言に対する施策化措置状況・検討状況等

ていげんないよう 提言内容	そち じょうきょう けんとうじょうきょうとう ねん がつまつじてん 措置状況・検討状況等(2026年3月末時点) か こ じょうきょう ふく <過去の状況を含む>
6 (1) がいこくじんこうれいしや かぞく が、老後の生活や福祉サービ スなどについて、多言語で そうだん できる しせつ を せつち する。 (2) がいこくじんこうれいしや かぞく からの相談に対応できる 「外国人高齢者支援コーディ ンーター（仮）」を置く。 (3) 同じ外国人という立場の こうれいしや つど ば つく ること で、外国人高齢者が孤立せ ず、必要な時に必要なサービ スに会える機会を保障す る。	(1) 2025年3月に、多言語による「神奈川県認知症 の人の「希望をかなえるヘルプカード」を作成し、 県のホームページに掲載した。 (2) の相談機関向けの研修、(3) の市町村による通い の場に対するアドバイザー派遣は実施しているが、 外国人高齢者やその家族への配慮等を中心とした 内容ではなかった。（高齢福祉課）
7 (1) かながわけん けん れんけい いる関係機関が実施する けんしゅうかい しんり 研修会で、心理カウンセリング などの研修を追加する。 (2) にほんごしえん ぼ ごわしや 支援を続けるため、ボランテ ィアの謝金の見直しを行う。 (3) かながわけんがいこくじんせんようそうだん 窓口の時間外に、人工知能 Chat GPT などのAIを設置し、 簡単な問合わせの場合には、 がいこくじん からの だんわ そうだん じんこう 外国人からの電話相談に人工 知能の音声で答えられるよう にする。	(1) 多言語支援センターや外国籍県民相談窓口で、 通訳者のメンタルケアにつながる研修を実施した。 こうした窓口含め、関係機関にヒアリングしながら 実施に向けて検討をしていく。 (2) 通訳ボランティアの謝金の増額に向けた見直し を行った。 (3) 外国籍県民の相談窓口の時間外対応にAIを活用 させるため、関係団体にヒアリングを実施してい る。（国際課）